

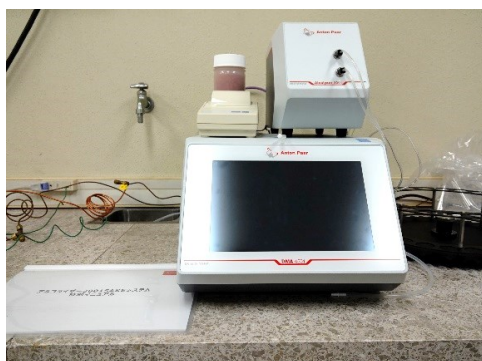
# 高知県工業技術センターだより

## ▶ 新規導入分析装置のご案内 食品開発課

食品開発課では県内アルコール飲料製造事業者の技術支援を効率的に実施するため、新規分析装置を導入しました。分析を自動化することで、測定の結果に生じる分析者の手技によるバラツキを排除することができ、そのうえ、今までよりも多くのサンプルの分析データを少ない人手で収集できるようになります。効率的に収集したデータを用いて、より多様な支援を行っていく予定です。

これらの装置は内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金（補助率 1/2）を活用した『農水産物・食品及び土佐酒輸出拡大プロジェクト推進事業を通じた地域の活性化』事業にて導入しました。

### 新規導入した分析装置



①アルコール濃度計

株式会社アントンパール・ジャパン  
Alcolyzer 3001 Universal システム



②自動滴定装置

株式会社 HIRANUMA  
COM-1760SC1748



③自動セルカウンター

ベックマン・コールター株式会社  
Vi-CELL BLU

## ①アルコール濃度計

日本酒、ビール、ワイン、リキュール、蒸留酒などのアルコール含有量を分析するシステム。『所定分析法に代えて酒類製造者が記帳義務を履行する際の測定方法として使用しても差し支えない合理的な方法』として国税庁に認められている。

- ◆清酒、リキュール、スピリッツ、焼酎、ウイスキーの測定に対応
- ◆試料の蒸留なしで、エキス、比重、日本酒度、重ボーマ度、アルコール濃度の同時測定が可能
- ◆アルコール濃度の測定範囲は0～20%v/v（醸造酒）及び35～65%v/v（蒸留酒）

【メーカー名】株式会社アントンパール・ジャパン、【型式】Alcolyzer 3001 Universal システム

- (1) Alcolyzer 3001 Laboratory nir analyzer
- (2) 振動式密度計 DMA4501
- (3) サンプルチェンジャー XSAMPLE520

## ②自動滴定装置

試料内の測定目的物質と濃度既知の試薬が定量的に反応することを利用し、試薬を滴下し当量点までの試薬消費量より、試料中に測定目的物質がどのくらい含まれているかを測る作業を自動で行う装置です。

- ◆清酒の総酸とアミノ酸を自動で連続測定可能
- ◆分析者に起因するバラツキの排除により正確性と再現性が向上
- ◆滴定条件の事前設定とオートサンプルの利用による省力化

【メーカー名】株式会社 HIRANUMA、【型式】自動滴定システム COM-1760SC1748（特）

- (1) 制御部 PC-1760 システムマネージャー
- (2) 滴定部 TS-3000S-20 タイトステーション
- (3) オートサンプル部 C-1748 自動サイクラ（特）

## ③自動セルカウンター

従来、光学顕微鏡と血球計算盤による手作業で行われてきた細胞の生死判定を、試料吸入・色素混合・画像撮影／解析・測定後のライン洗浄まですべて自動で行う装置です。

【メーカー名】ベックマン・コールター株式会社、【型式】Vi-CELL BLU

- ・サイズ範囲：2～60μm
- ・細胞係数範囲：5.0×10<sup>4</sup>～1.5×10<sup>7</sup>（Cells/mL）
- ・検体量：200μL

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ～ 17:15



高知県工業技術センター  
Kochi Prefectural Industrial Technology Center